



発行元：

金屋町まちづくり協議会

発行責任者：般若陽子

編集責任者：般若慎一郎

左上の写真はご存知やがえふ踊りの銅製レリーフですが、さてこの作品はどこにあるでしょうか？
答えは緑地公園内です。もしもピンとこない人は、散歩がてらに改めて公園内を探してみるのもいい
のではないのでしょうか。

歴史まちづくりフォーラム

1月15日、ウィングウィングにおいて、歴史的資源の有効活用による高岡のまちづくりをして
いきたいという趣旨で、主題のフォーラムが開催



された。高岡市文化財課から「高岡市歴史文化基本構想」、都市計画課から「高岡市歴史的風致維持
持向上計画」について説明がされ、続いて高岡市伏木出身で金屋町伝統的建造物群保存対策調査
委員も務めている金沢工業大学教授の蜂谷俊雄さんによる講演「これからのまちづくりと高岡」
が行われた。

歴史まちづくりであれば金屋町はおおいに関係があるとの認識で聴いてきました。感じたことを
ちょっとだけですが書いてみます。

これから少子高齢化が本格的に進展するが、40年後の日本の人口は8,500万人まで減少する
だろうと予測されている。しかも東京は変化せず地方の人口が現在の50%にまで減少するとい
う予測です。成長ではなく成熟していく世の中では、まちづくりの意義も変化している。

観光客のためでなく住民のためのまちづくり、つ

まり住みたくなるような生活の質をつくること
が重要。観光化が目的ではなく、住民が歴史と文
化を実感できるまちづくり。建物などのハードウ
ェアを修景することによって、歴史と文化という
ソフトウェアを高めていくことが大切。特に目的
がなくても、そこを歩いたり、そこにいることが
楽しい、心地よいという界隈を形成するというこ
とがまちづくりではないのでしょうか、というこ
とを小布施町の事例を引用して述べられたが、お
おいに示唆を感じる内容でした。

高岡市は先人が残した歴史資産を有している
という点で、他の町に比べてまちづくりに優位性
がある。そのことを認識した上で、それでは我々
は後世に何を残せるのかを考え、それを実現する
のがまちづくりではないのでしょうか。

kin de 2010X'mass

12月25日18:00より、「金屋町金属工芸
工房かんか」において主題のクリスマスパーティ
ーが開催された。地元の自治会役員や関係者も招



かれ、若いスタ
ッフ達と共に
鍋をつついて、
あたかも昔の
学生時代に戻
ったかのごと
くに楽しいひ
と時を過ごし
ました。

写真はかんかオリジナルケーキ～金属工芸のほ
かに、ケーキも作れるようですね。

第2回鑄物師のまちを考える会

1 2月5日、金屋町公民館において、高岡市文化財課が主催し、地域住民の他に金沢工業大学の先生方や学生たち多数が参加して「第2回鑄物師のまちを考える会」が開催された。

主催者あいさつに続いて報告会があり、盛り沢山の内容を圧縮して先生方や学生達から大急ぎで報告された。



1. 町並み調査と町形成過程の分析結果について
 2. 街並みの景観要素について、学生による町の将来像提案について
 3. アンケート調査の結果について
- 学生による将来像提案では、コンピューターグラフィックを駆使し、現実の町並みの中にギャラリーとかカフェとかを仮想的に描き、ビジュアルな説明があった。敷地の大きさを大・中・小の場合に分類し、かつ観光地としての成熟度に応じてそれぞれ複数の提案が示された。なお今回の提案は、既に駐車場になっているなどの空地に、町並み景観にマッチする形で新たな建物を建てるという前提だった。

続いてワークショップがあり、金屋町の魅力を活かしながら「住み続けられるまち」となるにはどうしたらよいか？というテーマを更に3つの小テーマに分け、3グループに分かれて討論を行った。

1. 住む人をより増やすには

2. 皆さんにとって魅力的な景観要素とは
3. 訪問者を増やすには

きわめて短時間の討論会であり十分に意見をまとめたというレベルにはほど遠いが、貴重な意見が出されていたと感じた。また、このようなことを議論していくことが、まちづくりに向けた住民の意思を形成していくために重要なことです。ポストイットに書き出したキーワード群と、ボイスレコーダーに録音した討論の声を、大学で整理し何らかのまとめをした上で地元へフィードバックされるものと思われます。

金屋町開町400年記念 シリーズ 金屋町と高岡鑄物の歴史 ⑦ にしん釜

明治30年から昭和初期にかけてをピークとしてにしん釜が大量に作られた。北海道で漁獲する大量のにしんを材料にしん肥料を作り、北前船で内地へ運んだが、そのにしん肥料を作るためのにしん釜（大釜）を高岡で作り、これまた北前船で北海道へ運んだ。

にしんのお陰で北海道にはにしん御殿が建ち、金屋町にはにしん釜御殿が建ったと言われている。

なお天保年間に蝦夷地（北海道）へ渡航し、初めてここににしん釜の販路を開拓したのは



喜多万右衛門だったそうです。

~~~~~

## 金屋町開町400年記念行事予定

1. 夏ごろをめどに記念誌を編纂・発刊する
2. 記念フォーラム 9月11日（日）
3. 記念式典と祝賀会 9月12日（月）
4. ふいご祭り 11月8日（火）